

ISO 18436-7:2014 機械状態監視診断技術者（サーモグラフィ）による 新規認証申請実施案内（2022年11月1日発効）

一般社団法人 日本非破壊検査協会 CM技術者認証事業本部

* 本書は、一般社団法人 日本非破壊検査協会 CM技術者認証事業本部が実施する ISO 18436-7:2014 に基づく資格制度における資格認証について書かれたものです。実施案内は最後までよく読んで、資格認証審査結果が出るまで大切に保管してください。

* 本書は ISO 18436-7:2014 に基づく内容です。規格の改正等により資格及び認証制度が改正された場合、変更等もありますので予めご了解ください。

**今期の新規認証申請書の受付期間<資格証明書発効日：2022年11月1日>
2022年9月15日（木）～2022年9月30日（金）必着**

<新規認証申請実施日程>

	2022年 11月1日発効資格	2023年 5月1日 発効資格*1	2023年 11月1日 発効資格*2
①新規認証申請書の発送 筆記試験結果通知と一緒に送付されます	9月14日	3月	9月
②新規認証申請書の受付期間 上記「今期の新規認証申請書の受付期間」参照	9月15日～30日	3月	9月
③新規認証審査結果と認証申請料振込票の発送	10月14日	4月	10月
④認証申請料の振込 認証申請料振込票に記載された「振込期限」参照	10月21日 ※11月末まで振込を受け付けますが、振込完了後に資格証明書が発送されます。	4月	10月
⑤資格証明書の発送 認証申請料の入金確認後に順次発送	10月下旬 ※10月21日以降に振込された場合、入金日から約2～3週間後に発送されます。	4月	10月

*1 及び*2：2022年夏期新規試験合格者は、今回の申請期間（9月15日～30日）のみ、新規認証申請が可能です。今回の申請期間を過ぎると、資格証明書は発行できませんので、注意してください。2022年夏期再試験合格者は従来通り、試験合格後2年間の新規認証申請期間があります。

<注意事項>

2022年11月1日発効の新規認証申請対象者は、以下の通り、試験種別・受験期により、提出書類・申請可能時期が異なります。

【A】2022年夏期新規試験合格者

提出書類：新規認証申請書（新版・白色の申請書）、住民票の写し

申請可能時期：今回の受付期間のみ

【B】2022年夏期再試験合格者、2022年冬期以前の新規・再試験合格者

提出書類：新規認証申請（従来版・桃色の申請書）、色覚検査証明書、住民票の写し

申請可能時期：試験合格後2年以内の規定の受付期間（毎年3月・9月に実施）

※夏期試験は8月、冬期試験は2月に例年実施しております。

＜新規認証申請実施案内目次＞	ページ
1. 新規認証申請とは	2
1.1 認証の条件	2
1.2 新規認証申請の有効期間	2
2. 色覚証明とは	3
3. 経験とは	3
カテゴリⅠ、カテゴリⅡ、カテゴリⅢの最小限の経験期間	3
4. 新規認証審査の流れ	4
5. 書類チェックと審査について	4
6. 提出書類	4
7. 送付先・問合せ先	5
8. 料金	5
9. 誓約書について	5
10. 機械状態監視診断技術者の倫理規程	5
11. よく寄せられる質問	6
12. 新規認証申請書の記入方法について	7
13. 色覚検査証明書の記入方法について	12
14. 新規認証審査適格後の資格証明書発送スケジュール	12

1. 新規認証申請とは

筆記試験に合格した方は、認証の条件を満足したのち新規認証申請を行うことで、認証資格（資格証明書）を得ることができます。試験を合格しただけでは、認証資格を得ることはできません。資格証明書の有効期間は5年間です。

1.1 認証の条件

認証の条件	【従来の手順】 2022年夏期再試験合格者、 2022年冬期以前の新規・再試験合格者	【新手順】 2022年夏期新規試験合格者、 2023年冬期以降の新規・再試験合格者
訓練	受験時に確認	受験時に確認
試験の合格	合格者に新規認証申請書が発送されます	合格者に新規認証申請書が発送されます
色覚検査	新規認証申請時に確認します	受験時に確認 (新規認証申請時に提出不要)
経験	新規認証申請時に審査されます	受験時に確認 (新規認証申請時に提出不要)

1.2 新規認証申請の有効期間

新規認証申請書の有効期間は2年間です（筆記試験合格から2年間）。

※2022年夏期新規試験合格者・2023年冬期以降の新規・再試験合格者は、試験合格直後の新規認証申請期間（夏期試験合格者：同年の9月、冬期試験合格者：同年の3月）のみ有効です。2年間の経過措置は終了しましたので、注意してください。試験合格直後の新規認証申請期間に申請されなかった場合、新規認証申請書は無効となります。

新規認証申請の有効期間内に認証申請の要件を満たして（毎年5月1日、11月1日）新規認証申請を行ってください。

※カテゴリⅢでは新規試験合格から2年間の申請有効期間だけでは認証の条件（経験）を満足できない場合があります。要求される最小限の経験期間（3.1項）を参照し、認証申請時に不足が生じないように受験前に適切な期間の経験を積むようにしてください。

2. 色覚証明とは

新規認証申請では、色覚要求事項を満たしていることを確認致します。

1年以内に行われた色覚要求事項の検査結果に基づき、雇用主が証明しなければなりません。

色覚検査の要求事項として次があります。

※2022年夏期新規試験合格者・2023年冬期以降の新規・再試験合格者は、受験申請時に提出をしているため、再度の提出は不要です。

<色覚証明要求事項>

色覚証明は、石原色覚検査表（国際版 24 表）を用いて 4 枚以上の識別ができることの証明を提出する必要があります。4 枚以上の識別ができない場合には、雇用主が業務に応じた検査を実施し、カラーパレットを用いたサーモグラフィのデータ分析に影響を与えないことを雇用主が証明する必要があります。雇用主が本書類（原本）又は本書類の様式に準じた記録を保管し JSNDI から提示を求められた場合は提出をしてください。

3. 経験とは

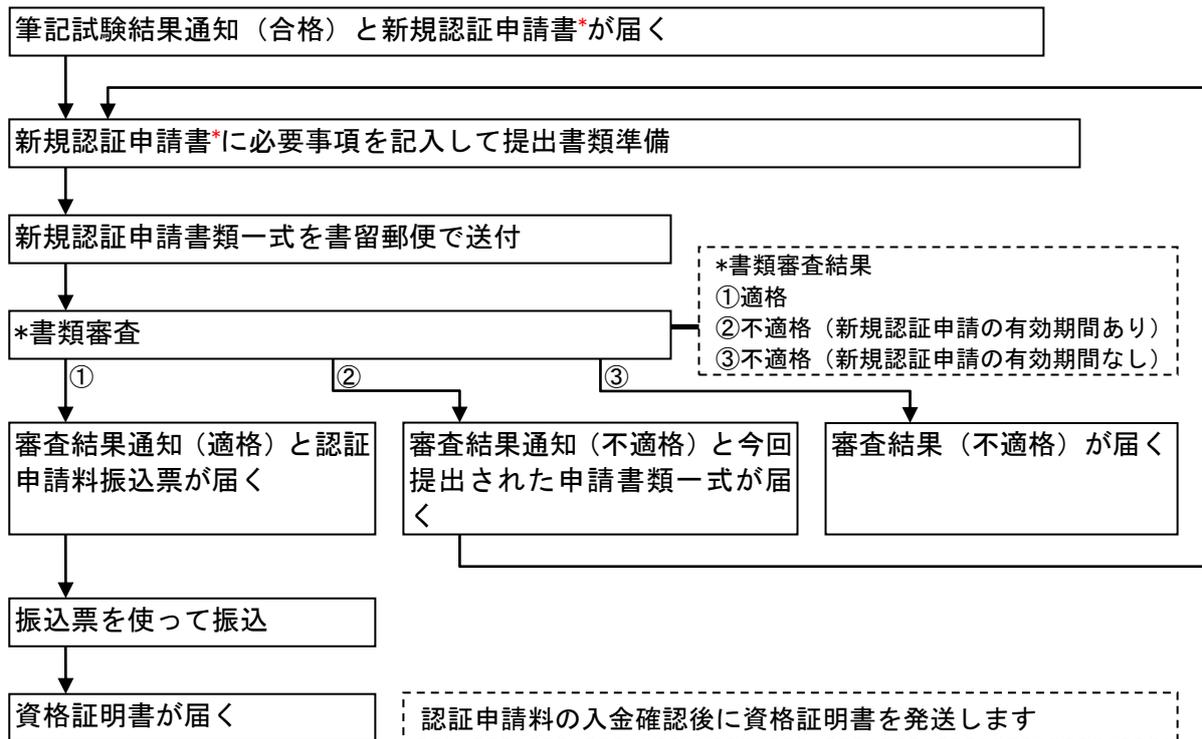
経験とは、認証資格を得るために必要な「サーモグラフィによる状態監視の経験（実務、評価、プログラム管理）」です。

3.1 カテゴリⅠ、Ⅱ及びカテゴリⅢの最小限の累積（実務、評価、プログラム管理）経験（月数）

カテゴリⅠ	カテゴリⅡ	カテゴリⅢ
12か月	24か月	48か月

※業務経験月数は月ごとに最小 16 時間の経験が必要です。

4. 新規認証審査の流れ



*2022年夏期再試験合格者は、新規認証申請書と合わせて色覚検査証明書が送付されます。
色覚証明書も新規認証申請書と合わせて提出してください。

5. 書類チェックと審査について

新規認証申請書類の提出後に事務局による書類チェックが行われます。

書類チェックにおいて、提出書類の不足や記入漏れ、不備等が確認されると事務局から連絡がありますので、速やかに修正等の対応をお願いします。

書類チェックの後、CM技術者認証事業本部による審査が行われます。

審査では提出された書類に対する適否が確定しますので、不合格の判定後に書類を修正することはできません。

6. 提出書類

提出書類は次のとおりです。過不足のないよう注意してください。

新規認証申請書

色覚検査証明書の写し（※2022年夏期再試験合格者、2022年冬期以前の新規・再試験合格者のみ要提出）

住民票の写し *①、②

（住民票の写しの「原本」*①、申請者本人が記載されたもの且つ6か月以内に発行されたもの*②）、
又は、有効な JSNDI 発行資格証明書のコピー

*①「住民票の写し」とは、役所で発行された原書です。原書をコピーしたものではありません。
なお、住民票の写しをコピーした場合は、「複写」の文字が浮き上がり、有効な証明書としては使用できません。

*②「住民票の写し（申請者本人が記載されたもの）」に関する注意事項

役所で住民票の写しを請求の際は、“世帯全員”ではなく“世帯の一部”を選択し、新規認証申請者本人が記載されたもの入手してください。“世帯全員”が記載された住民票を提出されても構いませんが、本人が記載されている頁のみ抜き取って提出しても「本人確認書類」としては認められませんので、ご注意ください。

7. 送付先・問合せ先

書留郵便（簡易書留可）で下記宛に受付期間必着で送付してください。

一般社団法人 日本非破壊検査協会 CM技術者認証事業本部 新規認証申請係
〒136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル10階
TEL 03-5609-4014

※勤務先等で提出する新規認証申請書が複数枚ある場合、一つの封筒にまとめて送付いただいても構いません。ただし、何通分同封したのか封筒に明記してください（通数の確認だけ行います）。

8. 料金

新規認証審査で適格となると審査結果通知（適格）と認証申請料振込票が届きます。

審査適格後に1申請につき「11,000円（税込）」がかかります。

9. 誓約書について

新規認証申請者と雇用主は「機械状態監視診断技術者の倫理規程（以下、倫理規程という）」に同意した上で、新規認証申請書に氏名と押印をしてください。

新規認証申請書に氏名と押印をすることで倫理規程に同意した誓約とします。

※認証審査登録者の認証番号及び氏名を弊協会のHPにて公表いたしますので、予めご承知おきください。

10. 機械状態監視診断技術者の倫理規程

ISO 18436-7 によって認証を受けた者は、国際的原理に従い、人間としての高潔さと専門家としての力量を認識すべきである。従って、認証を取得した技術者は、次の事項を満たさなければならない。

- (1) 環境、安全、衛生及び公共福祉に関心をもって、専門家としての義務を果たす。
- (2) 訓練と経験に基づいて実施可能な測定・解析だけを請け負い、保証を求められる場合には、その要求に耐え得る専門家との契約を勧める。
- (3) 理性ある態度及び公明正大な業務活動で同僚、顧客及び関係者と接する。
- (4) 公共の福祉に反しない限り、雇用主、顧客、同僚及び一般大衆から知り得た情報は厳守する。
- (5) 根拠のない文書の作成及びこの規格に基づいた認証システムに反するような非倫理的行動はしない。
- (6) 非技術的権威によって、技術的判断が覆された場合に派生する不利な結果についても雇用主及び顧客に示す。
- (7) 雇用主及び顧客との利害対立は避ける。作業の履行に関してそのような対立が発生した場合、状況を関係者に迅速に伝える。
- (8) 状態監視のための測定・解析技術の適切な遂行に必要な技術的知識の新たな修得を行い、技術の維持に努める。

11. よく寄せられる質問

Q 雇用主の証明は誰がするのでしょうか？

A 新規認証申請における雇用主は、申請者の業務活動について証明できる方（申請者と雇用関係にある方。例えば、申請者の上司）とし、個人事業者の場合はご本人が証明してください。

Q 雇用主証明の押印は、会社印ですか、個人印ですか？

A どちらでも構いません。

Q 申請者が雇用主、又は、個人事業主の場合、証明は誰がするのでしょうか？

A 申請者は、雇用主の立場で、雇用主に帰する全ての責任を負うことをご自身を証明してください。

Q 書類は書留郵便で送らなければなりませんか？

A 必ず送付した記録（控え）が残る方法（簡易書留等）により受付期間必着でお送りください。その記録（控え）は新規認証申請の審査結果が出るまで保管してください。

Q 認証申請料（登録料）の払い込みが遅れた場合、資格発効日はどうなりますか？

A 資格発効日ごとに新規認証審査を実施していますので、払い込みが遅れても資格発効日に変わりはありません。払い込みが遅れた場合、別途手続きが必要となりますので、事前に認証事業本部に連絡を入れてください。なお、資格発効日（予定）から 12 か月を超えて払い込みが遅れてしまった場合、新規認証審査結果は無効となり、資格証明書は発送できませんのでご注意ください。

Q 新規認証申請で資格証明書を取得した 5 年後の手続きはどのようになりますか？

A 更新審査を実施します。更新の時期になりましたら指定された連絡先へ所定の用紙を送付します。詳細については、HP 掲載の「更新審査実施案内」をご覧ください。

※個人データ（送付先等）に変更が生じた場合は速やかに変更してください。

個人データ変更届けは、HP（ISO 18436-7 機械状態監視診断技術者（サーモグラフィ）試験の頁）に掲載しています。

<http://www.jsndi.jp/qualification/index12.html>

12. 新規認証申請書の記入方法について

試験種別・受験期により、新規認証申請書の様式・必要記入事項が異なりますので、注意してください。

【A】2022年夏期新規試験合格者（新手順による新規認証申請）

CM20220914	
JSNDI 記入欄:	
提出期限: 2022年9月30日	
ISO 18436-7に基づく 新規認証申請書 (IR) <新版>	
【2022年夏期新規試験合格者専用】	
(2022年夏期再試験合格者・2022年冬期以前の新規・再試験合格者は、従来版の新規認証申請(業務経験記入欄有)を提出してください。)	
私は倫理規程に同意するとともに本書の記載内容に相違ないことを証明します。	
1. 署名・写真	
<input checked="" type="checkbox"/> 署名欄①	写真(貼り付けてください。)
状態一郎	縦 30mm×横 24mm 6か月以内に撮影 写真表面に次を記載 ・生年月日 ・氏名
<input type="checkbox"/> 署名欄②	
状態一郎	
<p>・太線にかからないよう上記2か所の枠内へサインペンで濃くはっきりと自筆署名してください。</p> <p>・データ登録しますので、登録を希望する署名欄のチェックボックスにレ点を記入してください。</p> <p>・チェックボックスにレ点がない場合は署名欄①を登録します。</p>	
2. 申請者情報記入欄	
新規認証申請書提出日	2022年9月15日
カテゴリ(いずれかを○で囲む)	①・Ⅱ
受験番号	IR I 13-10001-A0
個人コード	P 12345678
※試験結果通知書に受験番号・個人コードが印字されていますので、参照してください。	
【提出書類確認欄】※本書と合わせて以下の提出が必要です。	
<input type="checkbox"/> 住民票の写し(申請者本人が記載されたもの且つ6か月以内に発行されたもの)又はJSNDIが発行した有効な資格証明書のコピー <p>※「住民票の写し」とは、役所で発行された原書です。原書をコピーしたものではありません。住民票の写しをコピーした場合は、「複写」の文字が浮き上がり、有効な証明書としては使用できません。役所で住民票の写しを請求の際は、“世帯全員”ではなく“世帯の一部”を選択し、新規認証申請者本人が記載されたものを入手してください。“世帯全員”が記載された住民票を提出されても構いませんが、本人が記載されている頁のみ抜き取って提出しても「本人確認書類」としては認められませんので、ご注意ください。</p>	
<input type="checkbox"/> 登録情報変更届(※変更がある場合のみ)	

1. 署名・写真

- ・太線枠2箇所に線に重ならないよう新規認証申請者が署名をしてください。この署名欄に記入された署名が資格証明書の署名として登録されます。署名欄2つのうち登録を希望する署名の右横の口に入力して記入してください。※署名はサインペン等で濃くはっきりと記入してください。
- ・新規認証申請者の顔写真を貼ります。この顔写真が資格証明書の顔写真として登録されます。次の「顔写真の注意事項」に適合しない場合は、他の写真の再提出を求める場合があります。

<顔写真の注意事項>

- ・申請者本人のみが撮影されたもの。
- ・提出の日前6か月以内に撮影されたもの。
- ・縁なしのもの(縦30mm×横24mm)。
- ・正面を向いたもの(中心からずれている、顔が横向き、傾いている、影が写っているものは不可)。
- ・背景(影を含む)がないか若しくは薄いもの(白髪の方は背景がなるべく濃いものに)。
- ・眼鏡、ヘアバンド、帽子などにより顔の一部が隠れていないもの(サングラス、フレームが目にかかっている、フレームが非常に太い、眼鏡に照明が反射、幅広のヘアバンド、帽子、マスク、前髪で目元が見えない等は不可)。

- ・人物を特定しやすいもの（平常時の表情と著しく異なる、背景がきつく人物を特定しにくい、ピンボケ、顔に影がある等は不可）。
- ・デジタル写真の品質に乱れがないもの（ノイズ、にじみ、ジャギー（階段状のギザギザ）、画像処理をしているものは不可）。
- ・変色や汚れ、きずがないもの。
- ・写真専用紙に印刷したもの。

2. 申請者情報記入欄

新規認証申請書提出日、受験番号、個人コードを記入してください。受験番号及び個人コードは、結果通知書に印字されていますので、参照してください。

【B】2022年夏期再試験合格者、2022年冬期以前の新規・再試験合格者（従来の手順による新規認証申請）

表面

A：署名、顔写真

B：経験期間

C：雇用主証明欄

ISO 18436-7に基づく 新規認証申請書 (1R)		JSNDI
申請書有効期間：20●●年●月●日		発行番号 ●●●●●●●●
<p>私は倫理規程に同意するとともに本書の記載内容に相違ないことを証明します。</p> <p>新規認証申請書提出日（西暦） 20●●年 11月 22日</p>		
<p>状態 一部 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>状態 一部 <input type="checkbox"/></p>	<p>署名欄 2</p> <p>状態 一部 <input type="checkbox"/></p> <p>押印 <input type="checkbox"/></p>	<p><写真貼付></p> <p>縦 30mm × 横 24mm</p> <p>※ 顔写真の撮影 写真撮影に必要書類 （本申請書） ・氏名</p>
<p>・太線にかからないよう上段2箇所の特内へボールペンにて自筆署名してください。</p> <p>・データ登録しますので、登録を希望する署名右横の「f」マークが印刷されている欄に印点を記入してください。</p> <p>・「f」マークが印刷されていない場合は署名欄①を登録します。</p>		
申請カテゴリ	機械状態監視診断技術者（サーモグラフィ）カテゴリ I (IRI)	
氏名	状態 一郎	
NAME	JYOTAI ICHIROU	
個人コード	P10500000	
生年月日	1974年 08月 12日	
<業務経験期間記入欄>		
業務経験期間	<p><記入方法></p> <p>左表に機械状態監視診断（サーモグラフィ）すべての業務経験（実務、評価、プログラム管理）期間を記入してください。</p> <p>※業務経験月数は、（最小16時間/月毎）の経験で、合計12か月以上の経験が必要です。</p> <p>※業務経験開始の起算月の制限はありません。</p>	
業務経験開始日	2014年 04月	
業務経験終了日	2016年 03月	
業務経験月数	24か月	
<p>私は、本書申請者の雇用主として下記①、②の内容を証明します。又、証明にあたり倫理規程に同意します。</p> <p>①本書（表面及び裏面）の記入内容の証明 ②色変要求を満たしていることの証明（様式に基づいて実施し、様式原本を保管します。）</p>		
雇用主氏名と印	監視 太郎	証明日 20●●年 11月 22日
勤務先名	東京亀戸状態監視(株)	
所属部課名・役職	保全部 部長	
勤務先住所	〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-25-14 立花アネックスビル 10階	
電話番号/FAX番号	電話番号 03-5609-4014	FAX番号 03-5609-4062

A：署名、顔写真

- ①新規認証申請書提出日を記入してください。記入のない場合は、申請書到着日をもって申請書提出日とするともに証明日と見なします。
- ②太線枠2箇所に線に重ならないよう新規認証申請者が署名をしてください。この署名欄に記入された署名が資格証明書の署名として登録されます。署名欄2つのうち登録を希望する署名の右横の口には✓を記入してください。※署名はサインペン等で濃くはっきりと記入してください。
- ③新規認証申請者が押印します。
- ④新規認証申請者の顔写真を貼ります。この顔写真が資格証明書の顔写真として登録されます。次の「顔写真の注意事項」に適合しない場合は、他の写真の再提出を求める場合があります。

<顔写真の注意事項>

- ・申請者本人のみが撮影されたもの。
- ・提出の日前6か月以内に撮影されたもの。
- ・縁なしのもの（縦30mm×横24mm）。
- ・正面を向いたもの（中心からずれている、顔が横向き、傾いている、影が写っているものは不可）。
- ・背景（影を含む）がないか若しくは薄いもの（白髪の方は背景がなるべく濃いものに）。
- ・眼鏡、ヘアバンド、帽子などにより顔の一部が隠れていないもの（サングラス、フレームが目にかかっている、フレームが非常に太い、眼鏡に照明が反射、幅広のヘアバンド、帽子、マスク、前髪で目元が見えない等は不可）。
- ・人物を特定しやすいもの（平常時の表情と著しく異なる、背景がきつく人物を特定しにくい、ピンボケ、顔に影がある等は不可）。
- ・デジタル写真の品質に乱れないもの（ノイズ、にじみ、ジャギー（階段状のギザギザ）、画像処理をしているものは不可）。
- ・変色や汚れ、きずがないもの。
- ・写真専用紙に印刷したもの。

B：経験期間

機械状態監視診断（サーモグラフィ）すべての経験期間（本資格試験の受験前の経験を含む）を記入します。経験の開始月と経験の終了月又は業務継続中の場合は申請書提出日を記入し、その期間の月数を計算して「経験月数」に記入してください。**※業務経験開始の起算月の制限はありません。**月数が1か月に満たないものは切り捨ててください。

また、開始月から終了月までの間に業務等に携わっていない期間がある場合は、その期間を除いて「経験月数」に記入してください<記入例2参照>。

<記入例1>

2014年4月から2016年3月まで連続して業務等に従事

経験期間（西暦）	
2014年04月～2016年03月	
経験月数	24か月

* 2016年3月－2014年04月⇒2年（24か月）

<記入例2>

①2012年4月から2014年3月＋②2015年6月から2016年4月の期間に業務等に従事

経験期間（西暦）	
2012年04月～2016年04月	
経験月数	35か月

* ①2014年03月－2012年04月⇒2年（24か月）

* ②2016年04月－2015年06月⇒11か月

* ①「24か月」＋②「11か月」⇒35か月

裏面

<業務経験内容記入欄>
<カテゴリ I 記入欄>
 ・「カテゴリ I 申請者」は、業務において次の技法や機器等の一覧から用いたものにチェックを記入すること。
 ・一覧にない技法や機器等を用いた場合、その他の欄に記入すること。

<input type="checkbox"/> 赤外線+セーフティ装置 (短波長型的3~5μm帯域)	<input type="checkbox"/> 高温計測用カメラ アライメント	<input type="checkbox"/> 定量的+セーフティ計測 カメラ法
<input type="checkbox"/> 赤外線+セーフティ装置 (長波長型的8~15μm帯域)	<input type="checkbox"/> カメラまたは透過計測用 カメラ	<input type="checkbox"/> カメラ+セーフティ法
<input type="checkbox"/> 赤外線+セーフティ装置 (中間波長型的5~8μm帯域)	<input type="checkbox"/> 表面または透過計測用 カメラ	<input type="checkbox"/> 熱弾性応力測定法
<input type="checkbox"/> 赤外線カメラ (温度計測機能無し)	<input type="checkbox"/> カメラ	<input type="checkbox"/> 絶対判定法
<input type="checkbox"/> 量子型/搭載赤外線+セーフティ装置 (InSi, HgCdTe, QWIP, PnSi など)	<input type="checkbox"/> カメラ	<input type="checkbox"/> 相対判定法
<input type="checkbox"/> 熱型/搭載赤外線+セーフティ装置 (VOx, a-Si, Poly-Si など)	<input type="checkbox"/> 放射率計測 カメラ	<input type="checkbox"/> 相対判定法
<input type="checkbox"/> 二次元/セーフティ赤外線+セーフティ装置	<input type="checkbox"/> 放射率補正	<input type="checkbox"/> その他1 ()
<input type="checkbox"/> 光学+セーフティ赤外線+セーフティ装置	<input type="checkbox"/> 環境温度 (背景温度) 反射補正	<input type="checkbox"/> その他2 ()
	<input type="checkbox"/> 大気減衰 (距離) 補正	<input type="checkbox"/> その他3 ()
	<input type="checkbox"/> 外部ノイズ (壁連・広角・サナなど)	
	<input type="checkbox"/> 定性的+セーフティ計測	

※カテゴリ I 申請者で、上記表の一覧に該当する項目がなく、管理業務に就いている方は、<カテゴリ II 及び III 記入欄>の No.4 の記入欄に管理業務内容を記入すること。

<カテゴリ II 及び III 記入欄>
 ・「カテゴリ II 及び III 申請者」は、業務記録を下表の No.1~3 に 3 件記入すること。(必要に応じて記録・報告書の提出を求める場合があります。)

No	計測装置	対象物	標準規格等	実施日	記録・報告書番号	依頼元会社名等	責任者・管理者名
1							
2							
3							
4	(管理業務内容)						

※カテゴリ II 及び III の申請者で、上記表の No.1~3 に記入する業務記録がなく、管理業務に就かれている方は、No.4 の記入欄に管理業務内容を記入すること。

B 1 : 業務経験内容記入欄
 (カテゴリ I 及びカテゴリ II 記入欄)

B 2 : 経験内容記入欄
 (カテゴリ II 及びカテゴリ III 記入欄)
 ・カテゴリ II : 3 件
 ・カテゴリ III : 3 件

B 3 : 経験内容記入欄
 (カテゴリ I、II 及び III の申請者で、
 管理業務に就かれている方の記入欄)

B 1 : 経験内容記入欄 (カテゴリ I 記入欄)

「カテゴリ I 申請者」は、経験において使用した計測装置等、**実施した技法等すべてにチェックを記入してください**。一覧にない計測装置等、技法等を用いた場合、その他の欄に具体的に記入してください。

B 3 :「カテゴリ I の申請者」で、B 1 の一覧に該当する項目がなく、管理業務に就いている方は <カテゴリ II 及び III 記入欄> の No. 4 の記入欄に管理業務内容を記入してください。

B 2 : 経験内容記入欄 (カテゴリ II 及びカテゴリ III 記入欄)

「カテゴリ II 及び III の申請者」は、業務経験記録を 3 件記入してください。
 なお、記入例を次頁に掲載していますので、参考にしてください。

B 3 :「カテゴリ II 及び III の申請者」で、B 2 の No. 1~3 に記入する業務記録がなく、管理業務に就いている方は No. 4 の記入欄に管理業務内容を記入してください。

※必ずすべての項目を記入してください。記入漏れは不備となります。また、必要に応じ診断記録・報告書の提出を求める場合があります。

＜カテゴリⅡ及びⅢ 記入例＞

- ・「カテゴリⅡ及びⅢ申請者」は、業務記録を下表のNo. 1～3に3件記入すること。
(必要に応じて記録・報告書の提出を求める場合があります。)

※カテゴリⅡ及びⅢの申請者で、上記表のNo. 1～3に記入する業務記録がなく、管理業務に就か
ている方は、No. 4の記入欄に管理業務内容を記入すること。

No.	計測装置	対象物	準拠規格 等	実施日	記録・ 報告書番号	依頼元 会社名等	責任者・ 管理者名
1	〇〇社製 赤外線サーモ グラフィ装置 ABC-123	〇〇発電所 〇〇棟内 配電盤	顧客 QMS	20**/**/**	検査報告書 No. 〇〇	〇〇電力 (株)	検査一郎
2	〇〇社製 赤外線サーモ グラフィ装置 EFG-987 3倍拡大レン ズ	〇〇製鉄所 第〇区画 冷却系配管	〇〇製鉄 所 社内基準	20**/**/** ～**/**	〇〇製鉄所 検査報告 〇〇年第 〇〇号	〇〇製鉄 検査(株)	非破壊二 子
3	〇〇社製 赤外線サーモ グラフィ装置 長波長型	〇〇発電所 〇号機 循環ポンプ 及びモータ	JEAG 4223 NDIS 3427	20**/**/** ～**/**	定期報告書 AB-〇〇	〇〇電力 (株)	状態三太
4	(管理業務内容) ・赤外線サーモグラフィ試験における作業管理 (診断対象設備の選定、時期および頻度の設定、診断実施の計画および発注など) ・赤外線サーモグラフィ試験の診断結果・記録の評価(データの評価、実績管理など) ・赤外線サーモグラフィ装置管理						

※記入例で用いている“〇”(例：〇〇社製)は、伏字の意味です。守秘義務等により記入できない場
合は、差し支えない範囲で記入例のように伏字を交えるなどして記入してください。

C：雇用主証明欄

雇用主は、倫理規程に同意した上で提出書類の記載内容を確認し、証明を行ってください。

新規認証申請における雇用主は、申請者の業務活動について証明できる方(申請者と雇用関係にあ
る方。例えば、申請者の上司)とし、個人事業者の場合はご本人が証明してください。

13. 色覚検査証明書の記入方法について

2022年夏期再試験合格者、2022年冬期以前の新規・再試験合格者のみ提出が要求されます。

記入見本 **JSNDI**

ISO 18436-7:2014「機械の状態監視及び診断—技術者の訓練及び認証に関する要求事項—第7部：サーモグラフィ」に関する色覚検査証明書

※本書類は検査実施日より1年有効（新規認証申請書にはコピーを添付すること。）

(1) 証明者記入欄：私(雇用主)は、以下の申請者について色覚の要求事項を満足していることを証明します。
 <①～⑤の記入欄を全て埋めてください。>

証明者	①雇用主氏名・押印	状態 一部 印	②証明日 20 16年 11月 20日	
	③勤務先名・役職	状態ABC株式会社 保全部 部長		

④認証申請者氏名	状態 二郎	⑤申請カテゴリ	I
----------	-------	---------	---

(2) 色覚検査実施者

※医療機関の方が色覚検査を実施した場合は、証明者（雇用主）が代筆記入しても構いません。
 ※雇用主に任命をされて勤務先の第三者が色覚検査を実施した場合、⑦の(b)雇用主（代理）欄を使用してください。

認証申請受付日から1年以内の日付けが有効な書類です。

⑥検査実施日	20 16年 11月 10日		
⑦検査実施者 該当する(a)～(c)のいずれかの□にレ点を入れ、必要事項を記入。	<input type="checkbox"/> (a) 雇用主 [本紙(1)の証明者]		
	<input type="checkbox"/> (b) 雇用主（代理）	⇒	氏 名
	<input checked="" type="checkbox"/> (c) 医療機関	⇒	医療機関名

色覚要求事項：

色覚証明は、石原式色覚検査表（国際版24表）を用いて4枚以上の識別ができることの証明を提出する必要があります。なお、4枚以上の識別ができない場合には、雇用主が業務に応じた検査を実施し、カラーパレットを用いたサーモグラフィのデータ分析に影響を与えないことを雇用主が証明する必要があります。

14. 新規認証審査適格後の資格証明書発送スケジュール

新規認証審査適格後の資格証明書の発送は、認証申請料の入金確認後に行われます。
 入金確認が終わったものから順次資格証明書を発送いたします。

※指定外の方法で払い込まれた場合、入金確認できませんので資格証明書を発送できないことがあります。指定の方法で払い込むようにしてください。